

## 【奈良】「働き盛りに」ご当地弁当第2弾

2008年12月18日

ソーシャルブックマーク      | 印刷 



発売される「ならならのお弁当」と開発に携わった奈良女子大の学生ら＝県庁

働き盛りの人を応援する弁当を——。コンビニ大手セブン—イレブン・ジャパンは県と提携したご当地弁当の第2弾を18日から県内限定で発売する。奈良女子大・大学院で栄養学を専攻する学生5人が企画段階から開発に参加し、見た目にもこだわった弁当に。第1弾の「奈良のうまいもの弁当」に続くヒットを狙う。

「ならならのお弁当」で税込み580円。大和まなの煮浸しや大根となすの田楽、わさびのりなど県産品をふんだんに使い、豚しょうが焼きに肉じゃが、鶏ささみカツと3種類の肉を使いボリュームを出した。健康にも気を使いカロリーは634キロカロリーに抑えた。奈良女子大の開発チームのリーダーで大学院1回生の各務恵理菜さん(24)は「私たちのわがママをたくさん聞き入れてもらい、働き盛りの人だけでなく主婦や学生にも喜んでもらえるお弁当になった」と話した。

「奈良のうまいもの弁当」は発売期間(4月中旬～6月中旬)に県内だけで予想を上回る4万食売れ、兵庫を除く関西域でも販売された。「ならならのお弁当」は食材が確保できる1月中旬まで県内のセブン—イレブンとイトーヨーカドー奈良店で売られる。